

●【マイクロフィルムの製造・販売の中止】

非常に残念な事ではありますが、2025年11月に富士フィルム様にてマイクロフィルムの製造販売中止との仕儀に相成りました。

これに伴い、世界中でマイクロフィルムの製造販売が中止となり、以降 マイクロフィルムという情報媒体が製造され無くなります。

● メーカー側への質問 と 回答 (2025年6月初旬から現在まで)

- ・ 国際マイクロ写真工業社 代表森松義喬 ⇒ マイクロフィルム製造機器のメーカー側
「国際マイクロ写真工業社にて数億円かかってでもマイクロフィルムの製造機器の購入を希望」
「今後のマイクロフィルムの重要性を話す」
「単価が幾らでしたら製造が継続出来ますか？」
「材料の購入先、金額」等をお伺いしました。
- ・ マイクロフィルム製造機器のメーカー側 ⇒ 国際マイクロ写真工業社 代表森松義喬
「他の製造で機器は使用します」
「メーカー側で決めた事です」
「恐縮ですがお教え出来かねます」
との事でした。 残念でなりません (守秘義務契約等があるのでしょうか)

- 2026年以降も 国際マイクロ写真工業社のお客様において、マイクロフィルム撮影のご希望がございましたら至急ご連絡下さい。

e@kmsym.com

(但し 国際マイクロ写真工業社 営業部に既にご予約した方は連絡無し、で良いです)

- 国際マイクロ写真工業社 営業部にマイクロフィルム撮影・複製のご予約無きお客様は、未使用(生)の各種マイクロフィルムを国際マイクロ写真工業社へご持参頂ければ、マイクロフィルムの撮影・複製のお引受けは 不可能ではありません。

- マイクロフィルムの製造は2025年に世界中で中止になります。しかし、国際マイクロ写真工業社にて所有しているマイクロフィルム関連の設備・機器等は企業のメンテナンスが終了したとしても今後10年(2035年)まで 廃棄を致しません事をお約束いたします。

- 現像液・定着液の作業： 富士フィルム様、それ以外でも製造販売されている薬品の使用実績が国際マイクロ写真工業社では特例で有ります。
国際マイクロ写真工業社での現像定着作業は、現時点では不可能では無い体制です。